

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |  |            |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 27   | ・個別の記録と実践への反映<br>個別の記録用紙を変更し簡略化を図ると共に、区分けの工夫で何を書くべきかなど見直す際や都度情報の共有を図っているが、気づきなど記録の内容まで簡略化され単に記録時間の短縮の効果ばかりになっている。   | 個別ケアの必要性やケアの基本理念を再認識して日々の気づきの重要性を理解することが出来る。                         | ケア会議やユニット会議などの機会に個別の注意点や気づき、変化を整理することで個別具体的に重要視する点を共通認識し記録に残してもらおう事で口頭での申し送りだけでなく記録に慣れていきながら、自分の気づきを記録できるように促していく。 | 12ヶ月       |
| 2        | 42   | ・日々のその人らしい暮らし<br>ある程度の個別性が感じられるがパターン化しがちな所や業務的な面、可能性を考える前に諦めのような雰囲気を感じているので、もっとニーズを抽出していけるような取り組みや実績を積み柔軟な意識と体制が必要。 | できる・できないではなく、やりたいか・やりたくないかに判断基準を持ってもらう事でやりたくてもできないことに対する支援を増やしていきたい。 | 会議や個別ケア、介護計画の作成などを通じてその都度、主体が入居者であることを意識してニーズの抽出に努める。可能かどうかの判断は管理者も含め多職種の連携も諮り実現できるように努めていくことを共通認識して取り組んでいく。       | 12ヶ月       |
| 3        |      |   |  |  | ヶ月         |
| 4        |      |   |  |  | ヶ月         |
| 5        |      |   |  |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。